年間授業計画

大泉桜　高等学校 令和６年度（２学年用）　教科　芸術　　科目　書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　組～　　組

教科担当者：（１組：　秋元　）（２組：　秋元　）（３組：　秋元　）（４組：　秋元　）（５組：　秋元　）（６組：　）

使用教科書：（　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。	書の美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようになる。	主体的に幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ガイダンス　各書体の線質、字形、構成等 の要素と表現効果や風趣との関わ り、日本及び中国等の文字と書の伝 統と文化、漢字の書の特質とその歴 史、書の美と時代、風土、筆者など との関わりについて理解を深めている。	漢字の古典の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的 意義について考え、書のよ さや美しさを味わって深く捉える。				○	書道Iの分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。	○	○	○	8
	篆書　漢字の書を構成するさまざまな要素や、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。	篆書の古典の表現 形式に応じた全体の構成 について構想し工夫している。		○		○	主体的に篆書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	隷書　漢字の書を構成するさまざまな要素や、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。	隷書の古典の表現 形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。		○		○	主体的に隷書の創造的な表現の学習活 動に取り組もうとしている。隷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	草書を構成するさまざ まな要素や、草書の古典の特徴と用 筆・運筆との関わりについて理解し ている。	草書の古典の表現 形式に応じた全体の構成 について構想し工夫している。		○		○	主体的に草書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
2学期	漢字の書を構成するさまざ まな要素や、行書の古典の特徴と用 筆・運筆との関わりについて理解し ている。	行書の古典の表現 形式に応じた全体の構成 について構想し工夫している。		○		○	行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に	○	○	○	14
	仮名の書を構成するさまざ まな要素や、仮名の古筆の特徴と用 筆・運筆との関わりについて理解し ている。	仮名の古筆の表現 形式に応じた全体の構成 について構想し工夫している。			○	○	仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
3学期	水墨画を構成するさまざまな要素や、墨色や余白のさまざまな水墨画の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。	水墨画の墨書・余白の表現 形式に応じた全体の構成について構想し工夫して いる。				○	水墨画の墨書・余白に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質を生かした表現をするための技能を身につけている。主体的に水墨画の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	漢字仮名交じりの書を構成 するさまざまな要素や、名筆や現代 のさまざまな書の表現と用筆・運筆 との関わりについて理解している。	目的や用途、表現形 式に応じた全体の構成、感 興や意図に応じた個性的 な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し 工夫している。	○			○	主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。				6
											合計 70